

新製品ニュース



**4K時代のプロジェクター用スクリーン「マルチピクス4K」、
オーエスプラスeがホームシアター用スクリーンとして、
ヨーロッパから輸入販売を開始。**

株式会社オーエスプラスe（本社：東京）は、ますます高精細になるプロジェクター用のスクリーンとして、MultiPix（マルチピクス）4Kをヨーロッパから輸入、11月よりホームシアター向けに新発売いたします。

マルチピクス4Kは、サウンドスクリーンで世界的なブランドとして有名なスクリーンリサーチが開発した、高解像度プロジェクター用のスクリーン生地です。日本ではオーエスプラスeが輸入・販売をいたします。

高解像度プロジェクターによる映像を再現するには、それに相応しいスクリーンが必用です。4Kに代表される高解像度のプロジェクターによる映像を楽しむ方の多くは、100インチを超える大型画面での鑑賞を希望されます。大画面になると大きな光量を必用とするため、プロジェクターの輝度を、高ゲイン（※1）のスクリーンの幕面で補う必要があります。マルチピクス4Kはゲイン1.35という理想的な高反射率を実現しています。また高ゲインのスクリーンに付き物のホットスポット（※2）を高いレベルで低減させました。

さらに、高解像度の映像はモアレ（※3）が非常に気になりますが、マルチピクス4Kは非常に小さな単位での幕面処理を行うことにより、モアレを全く生じさせる事はありません。

マルチピクス4Kは、ホームシアター用のスクリーンリサーチ製品に取り付けてご提供いたします。

※1.ゲイン：幕面の持つ光の反射特性。1.0を基準値とする。※2. ホットスポット：幕面の一部が強く明るくなる現象。※3モアレ：映像のドットと幕面の凹凸による干渉縞

《製品名》 プロジェクタースクリーン生地「マルチピクス4K」

《発売日》 11月15日（木）

《価格》 スクリーンリサーチ ホームシアタースクリーン製品に採用し発売／下記

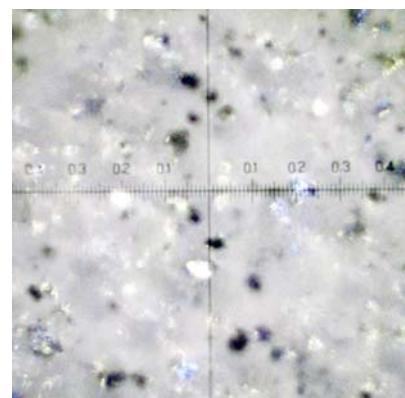
《用途》 ハイレゾルーションホームシアター／高解像度プロジェクター用スクリーンとして

《MultiPix4K 生地拡大写真》



MultiPix4K の接写拡大写真

微細でランダムな凹凸が、モアレ
とホットスポットを防ぎます。



MultiPix4K の顕微鏡写真

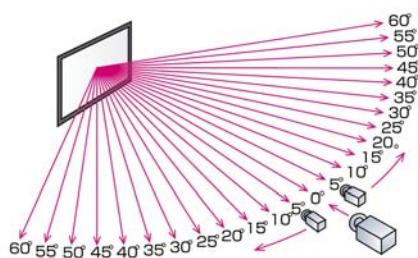
黒い粒は微細なパール粉体。高い
ゲインを生む秘密です。
肉眼では全く判別できません。

«MultiPix4Kの特長»

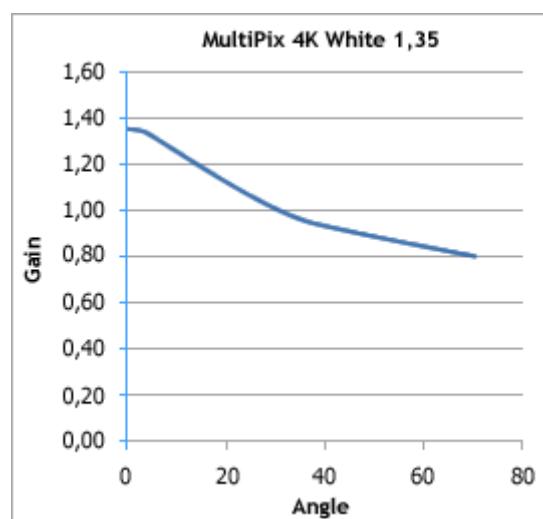
- 1) 4Kなどの高解像度プロジェクターに最適なスクリーン（フルHDにもお勧めします）
- 2) アクティブ3D用スクリーンとしても、最良の効果を生む高ゲイン1.35
- 3) 天吊のプロジェクターと相性の良い反射型パールタイプ
- 4) 完璧なカラーバランスと、白領域の均一性を持つスクリーン
- 5) 高ゲインスクリーンにありがちなホットスポットを低減
- 6) 完全暗室ができないリビングホームシアターにも対応する高ゲイン1.35
- 7) 将来的な8Kにも対応可能な幕面処理技術
- 8) 防炎生地
- 9) ISF認証生地

«MultiPix4Kスクリーンゲイン»

スクリーンゲイン測定法



スクリーンサンプルの中心に垂直方向に光を照射し、中心から同一円弧上を左右60°の範囲で5°ずつ移動したポイントでの反射光の明るさを、輝度計で測定します。

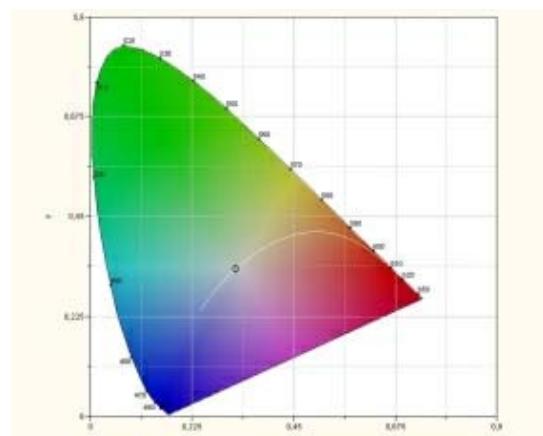


«D65(※)の色温度を忠実に再現する、完璧なカラーバランス»

※D65 :

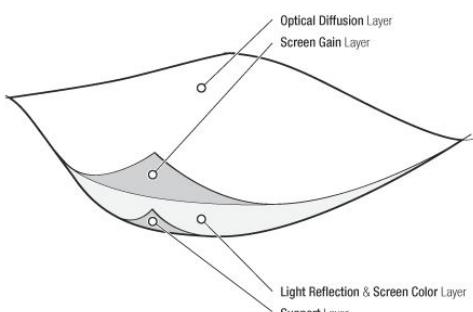
CIE（国際照明委員会）が規定する光源の規格。色温度が6504ケルビンで、自然な昼光の標準とされている。

D=DayLightの略



«独自のマルチレイヤー技術»

マルチピクスはスクリーンリサーチの独自のレイヤー技術です。表面レイヤーは光の反射性能を持たせ、背面レイヤーが均一な色再現と反射特性を実現します。この2層のレイヤーにより、堅牢で生地特性の劣化を抑えたス



クリーン生地を実現しています。

《価格：Multipix4K 採用のスクリーン（一部）》

電動スクリーン：フローティングタブテンションスクリーン（写真）

MS2-126（120型相当）1,100,000円（消費税別）

MS2-138（140型相当）1,200,000円（消費税別）

MS2-149（150型相当）1,300,000円（消費税別）

MS2-161（160型相当）1,400,000円（消費税別）

MS2-172（170型相当）1,500,000円（消費税別）

MS2-184（180型相当）1,600,000円（消費税別）

※別途張込型もございます。



《本件に関するお問い合わせ》

株式会社オーエスプラス e 本社：〒120-0005 東京都足立区綾瀬 3-25-18

コンタクトセンター

電話：フリーダイヤル 0120-380-495 FAX：フリーダイヤル 0120-380-496

E-mail info@os-worldwide.com

《本ニュースに関するお問合せ先・ニュース発信者》

株式会社オーエス 本部：〒120-0005 東京都足立区綾瀬 3-25-18

マーケティングチーム 藤枝 昭

TEL.03-3629-5356 FAX.03-3629-5187 E-mail a.fujieda@os-worldwide.com

株式会社オーエスプラス e 会社概要

名称：株式会社オーエスプラス e

本社：東京都足立区綾瀬 3-25-18

創業：2000年10月

資本金：1000万円

代表者：代表取締役 奥村正之

事業内容：

2000年10月12日創業以来、日本市場に「家庭で映画を」と言う、ホームシアター文化を提案・構築。社名変更を機に、ホームシアターに留まらず、更に映像文化に関する幅広い取り組みを推進し、業績拡大を目指す。オーエスグループの中でも、最もエンドユーザーに近い企業として、グループ全体のスローガンである「キモチをカタチに」の実現を目指す。

《(株)オーエスプラス e 関連企業》

株式会社オーエスエム 本社：兵庫県宍粟市

<http://jp.os-worldwide.com/osm/>

株式会社オーエス沖縄黒板 本社：沖縄県中頭郡

<http://jp.os-worldwide.com/obs/>

OSI CO., LTD. (Hong Kong)

<http://hk.os-worldwide.com/>

喜摩租賃(北京)有限公司：中華人民共和国

<http://www.cima-net.cn/>

《日本総販売代理店》

OPTOMA 社(台湾)／世界初のポケットプロジェクターを発表した DLP プロジェクターメーカー

Vogel's 社 (オランダ) / フラットディスプレイなどのスタイリッシュハンガーメーカー

SCREEN RESEARCH (イタリア) / THX、ISF 公認のサウンドスクリーン

AV Stumpfl (オーストリア) / 画像処理技術で世界的に定評あるメーカー

EASTONE 社(日本) / 国産唯一の THX 認定スクリーン、eco スクリーンを開発する国内メーカー